

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142F014		政治学特講 (Special Lecture on Politics )																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	3	教育学部			氏名 鄭 敬娥												
						E-mail 内線												
授業の概要	1 国際政治を分析するための理論的枠組みを習得する。 2 国際的紛争や貧困などの背景を探り、その解決のための諸試みを理解する。 3 日本とアジア諸国、国際社会とのあり方を考えながら、「市民」としての自己認識を高める。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 現代国際関係の基本的構造を理解できる。																		
目標2 日本と国際社会とのあり方を考える。																		
目標3 現代国際政治の主な争点について、その背景や理論的構造を説明できるようになる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 イントロダクション																		
2 「主権国家体系」の成立と展開 : その歴史と内容																		
3 「主権国家体系」の成立と展開 : 国際社会への影響																		
4 世界大戦と「国際関係論」の始まり																		
5 グローバリゼーションと国際社会の変容																		
6 多国籍企業と「グローバル・スタンダード」?																		
7 国際紛争の諸構造																		
8 ポスト冷戦の安全保障と国際連合																		
9 国境と人権1: 人権概念の歴史																		
10 国境と人権2: エスニシティをめぐる諸問題																		
11 国境と人権3: 「多文化社会」とは																		
12 「戦後日本」の発信: 第二次世界大戦後の国際環境																		
13 日本の経済成長と国際社会における役割																		
14 多様化する行為体: NGO/NPO																		
15 総括																		
ラーニング	A: 知識の定着・確認	国際政治の諸出来事のなかで、最も興味のあるテーマを取り上げて、その歴史や背景などを調べてプレゼンテーションを行う。										工夫	その他の					
	B: 意見の表現・交換																	
	C: 応用志向																	
	D: 知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備	次回に取り上げるテーマについて、新聞や雑誌などから過去に争点になった出来事を調べて、自分なりに仮説を用意する。(例えば、グローバリゼーションの光と影)(15H)																
	事後	授業で扱った内容を振り返り、自分の仮説と照らし合わせて、問題点や足りなかった観点などを明らかにする。これを月一回、レポートとして提出する。(15H)																
教科書	特になし。プリントなど配付する。																	
参考書	村田晃嗣・君塚直隆ほか編『国際政治学をつかむ』(有斐閣、2009年)																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	授業の貢献度	20%																
	プレゼンテーション	30%																
	期末試験	50%																
注意事項																		
備考																		
リンク	URL																	